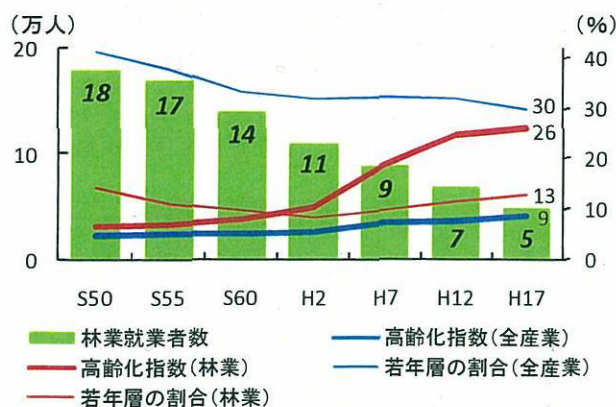


一目でわかる林業労働（データ編）

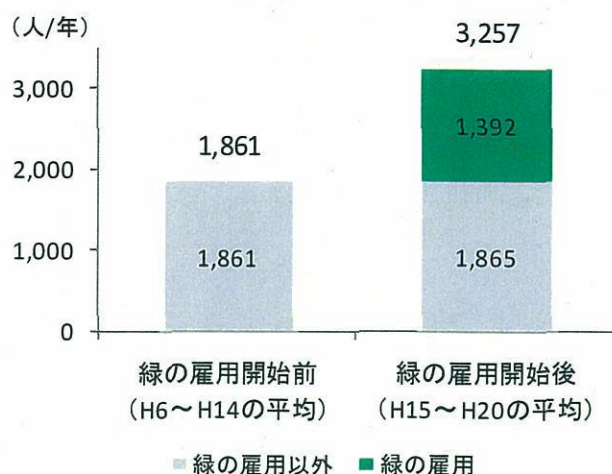
○林業就業者は減少・高齢化



資料：総務省「国勢調査」

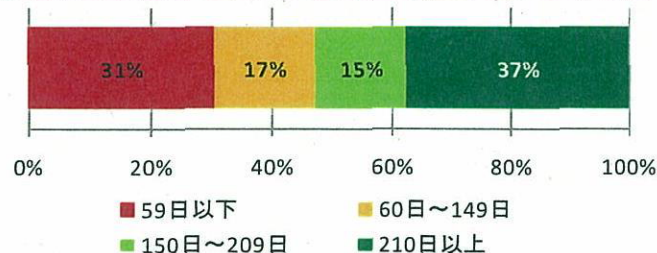
注：高齢化指数とは、総数に占める65歳以上の割合
若年層の割合とは、総数に占める35歳未満の割合

○新規就業者は毎年3000人程度



資料：林野庁業務資料

○約3割が年間60日未満での就業



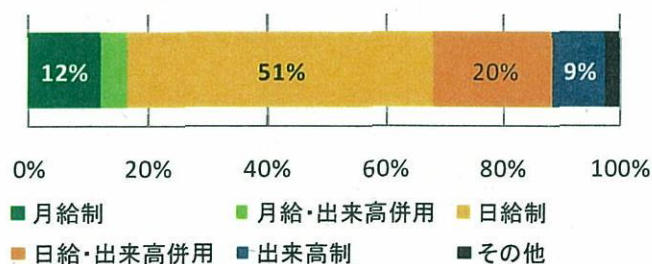
資料：林野庁「森林組合統計(平成19年度)」

○労働災害発生率は全産業の12倍

死傷年千人率	
全産業	2.3
林業	29.5
木材製造業	9.2

資料：林災防「林材業労働災害防止年報(平成19年度)」
注：千人率とは、1000人あたり1年間に発生する労働災害による死傷者数(休業4日以上)を表したものの。

○日給制が約7割



資料：森林組合統計(平成19年度)

○休日は日曜日や雨天日が多い

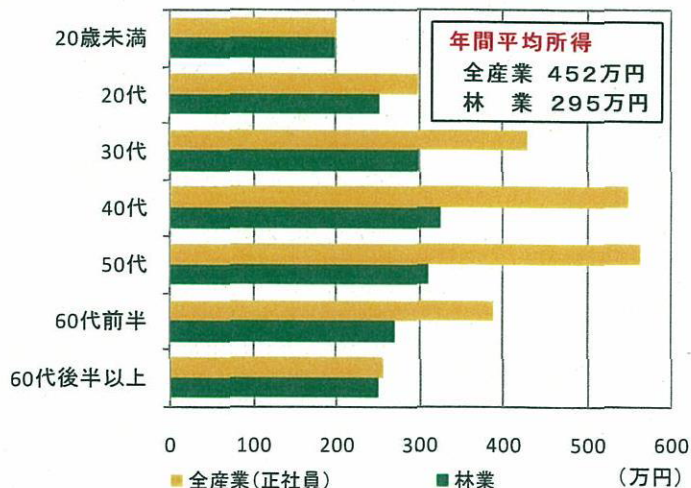
休日を「日他、日祝他、他」とする事業体 56%

資料：林野庁業務資料

注：ハローワーク・インターネットサービスで、就業形態を「一般求人」、希望する職業を「農林漁業の職業」、希望する産業を「林業」で条件設定し検索したH21.3.2現在の結果である。

○現場での始業時間は8時頃が多く、季節や天候に左右される

○平均所得は全産業に比べ約150万円安い

資料：総務省「就業構造基本調査(平成19年)」、林野庁業務資料
注1：全産業(正社員)は、就業構造基本調査における年齢別、所得別の有業者数により重み付けし試算。
注2：林業は、平成19年度アンケート調査結果における年齢別、所得別回答者数により重み付けし試算。

裏面もご覧ください。